

## 平第二中学校 第2学期始業式 校長式辞（要旨）

この夏には、市中体連の大会が行われた。

堂々の入賞を果たした競技もあれば、残念ながら入賞できなかった競技もあった。しかし、「最後まで全力を尽くして試合に臨んだ」という点では、どの競技にも優劣の差はない。

接戦を制して勝利に沸く姿もあれば、試合に敗れ、涙する姿もあった。しかし、どの競技でも、平二中の皆は、最後まであきらめることなく、勝利に向かって全力で戦っていた。皆の本気、「死力を尽くして頑張る姿」は素晴らしかった。

勝った嬉しさを経験することも大事だが、負けた悔しさをかみしめる経験も大事。今回の中体連の経験から貴重な何かを学び取り、今後の人生に活かしてほしい。

さて、今日から二学期。二学期始業式に当たり、私から三つのこととお話します。

一つは、「目標をもって、その実現に向けて努力しよう」ということ。目標を実現させるために、困難を乗り越えて努力するところに、人間としての成長や進歩がある。目標を実現させるためには多少苦しかったり、辛かったりするの当たり前なこと。意味のない苦しみは耐えられないが、その意味がわかっているならば、苦しさを耐え抜き、乗り越えることができる。乗り越えた先には、新たな風景が見えてくる。努力を重ねることで、成長してほしい。

二つめは、平二中伝統の「あじさい運動」の「あじさい」をしっかり実行しようということ。

特に、「あいさつ」はあらゆる人間関係の出発点となる大切な力。「あいさつの力」があれば、それは将来、必ず皆を助けてくれるはず、皆のためになるはず。

また、「いじめをせず誰とでも仲良くし」、学校中に「温かい良い人間関係」を築こう。学校の中に、いじめのウイルスがはびこると、「温かい人間関係」はいつしか壊され、病気が少しずつ広がるように、「冷たい悪い人間関係」に支配され、皆は、自分のよさや持っている力を発揮することができなくなってしまふ。人は、誰でも自分と同じではない。そして、誰でも、その人にしかない「よさ」を持っている。お互いの「よさ」に目を向け、認め合える関係を築いてほしい。

小さな花がたくさん集まって「あじさいの花」になるように、一人一人の小さな心がけが結集して、平二中の「あじさい」ができることを期待する。

三つ目は、「命を大切にしよう」ということ。自分の命も、人の命も、かけがえのない大切なもの。絶対に粗末に扱ってはならない。困ったことがあれば、先生方や友だちなど、相談してほしい。君たちの声に耳を傾け、一緒に考えてくれる人は必ずいる。自分一人で抱え込むことではなく、困ったときには、誰かに相談しよう。

新型コロナウイルスの感染を防止することも、「命を大切にすること」の一つ。大都市圏を中心に感染拡大の波が押し寄せて来ており、収束の見通しは立っていない。そんな中、毎日の授業や学校行事を進めていかなければならない。気を緩めることなく、マスク着用や手洗い・うがいなど、基本的な防止策をしっかりと行なおう。

二学期は、修学旅行や遠足、合唱コンクールなど大きな行事がる。三年生は、進路希望の実現に向けて一歩踏み出さなければならない学期。全校生徒がそれぞれに前進することを期待する。

令和2年8月25日

平第二中学校長 玉澤 淳